



大切な大人の役割



2月になり、寒さが厳しい毎日が続いています。心配していたインフルエンザも今のところ落ち着いていてほっとしているところです。

2月は、「如月」という美しい旧暦の月名もあります。如月の語源には、寒さのために着物を重ねる「衣更着」、春めいて陽気が盛んになる時季を意味する「気更来」などがあります。静かな気持ちで自然と向き合いながら、草木も動物たちも、そして私たちも、目覚めの季節への準備を始めるタイミングかもしれません。

子ども達が大きくなった時代は、どんな世界が待っているのでしょうか。めまぐるしく社会が大きく変化する中、子ども達がこれから生きていく社会は、何が待っているかわかりません。先行き不透明な時代だからこそ、心身ともにたくましく頑丈な生き方のできる人に育ててほしいと思っています。

そのためには、大人総ぐるみで子どもを育てるという姿勢が大切であると思います。もちろん、親がわが子に教えるべきことは、たくさんありますが、他人に教わることもたくさんあります。まわりの大人の持つ人生経験や知識を生かした関わりがとても大事であると感じます。

人間は、人とのふれあいによって安心感が生まれ、人を受け入れようとする広い心が生まれるものだと思います。子ども達には、広い心をもつ人に成長してほしいと願っています。

自分の子どもだけではなく、他の子ども達にも関わり目を向けていただければと思います。子ども達の成長に大人の役割は大きいと思います。ぜひ、大人がしっかりとスクラムを組み、東山東小学校の子ども達の成長を見守っていただきますようお願いいたします。

学校ではどの学年も1年間のまとめに入ります。学習面、生活面等において、一人ひとりの子どもの成長を確かめながら、進級、進学に向けての希望を大きく膨らませることができるよう指導してまいります。保護者の皆様方には、ご理解とご協力よろしくお願い申し上げます。



学校アンケートにご協力ありがとうございました。QRコードを読み取り、回答いただきました。集計結果をもとに、よりよい学校づくりに努めて参りたいと思います。アンケート結果は、後日お知らせする予定です。



今年度も残すところあと2か月となりました。14日には、最後の授業参観・学級懇談会があります。お忙しいと思いますが、子ども達の1年間の成長を観に来ていただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。





2月の行事予定

5	水	いじめなくそうデー	3	月	委員会
7	金	ALT 5年アジの出前授業	4	火	ALT 6年キャリア教育出前授業「ケーキ屋」
8	土	家庭科作品展	5	水	いじめなくそうデー
9	日	家庭科作品展	7	金	6年キャリア教育出前授業「美容師さん」
12	水	3年地域の人と交流(ありがとう会)	17	月	卒業式
13	木	6年金融出前授業	24	月	終業式
14	金	参観・懇談	31	月	離任式
18	火	5年ジビエ出前授業 ジャガイモの苗植え3年	※各行事が変更・中止になる可能性があります。 ご了承ください。 4月 8日(火)新任式・始業式 9日(水)入学式 10日(木)2~6年給食開始		
20	木	第2回学校保健委員会			
21	金	6年お別れ遠足			
25	火	5年キッズシェフ			
28	金	6年生を送る会			

『東山東村は、(中略)丘陵に富み、かつ、気候温暖、土地肥沃なる関係で、丘陵開墾による段々畑に柑橘の栽培多く、戦前にはその面積220町歩に温州みかん初めハツ代、ネーブル、三宝柑夏柑等(←漢字が読めない!!泣)の栽培が盛んに行われ、年産57万貫、その価格19万円(昭和12年)といわれ、農業所得の最高を占めていたが、大東亜戦争のため統制経済が実施され、畑の面積の応じて甘藷の供出が加重であったため、**折角の成年樹を切倒し**、甘藷の栽培に転換されたため、柑橘、柿の生産が極度に減少し、かつ一家の**大黒柱である中心人物が戦争に**
応召し、老人、婦女子の手で耕作に従事してきたが、昭和16年頃より戦争はいよいよ激しくなり、統制経済はますます強化されるにしたがい、**肥料の入手困難**と病害防除の**農薬不足**により、残された**果樹園は一部を除き、まったく枯死**する状態となった。』

またまた「東山東の歴史」から。こうした戦争時の記録を読むと、子どもたちの社会科の教科書をそのままこの土地に当て込んであかなくなって改めて思われます。「教科書にはこう書かれているけれど、自分たちが住んでいる地域も同じなん?違うん?」。これも以前に書いたように思いますが、時代は同じでもそれぞれの土地土地、人々の中に「それぞれの戦争」があったことまで、思いを馳せてもらいたいです。ペーパーテストも大事ですがテストには決して出てこない、けれど自分の足元で起きていた祖先の方々の現実にも思いを巡らせてほしいです。そうしたら、普段見慣れているみかん畑にだって、きっと新たな視点(時間軸・縦軸)をもって、見るんだろーと思います。「このみかん畑は戦争で一度枯死しているんやな」「新たにみかん畑を育てるのは大変だったのかな」「また、みかん畑を切倒すことにはならなくてほしいな」新たな視点は、新たな想いを生み出します。

お堅い話になりました。でも、子どもたちにとっても絶対に大事なお話。